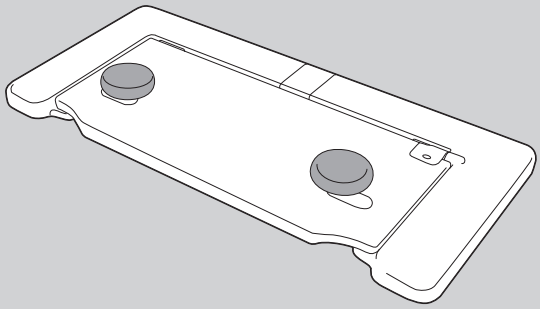
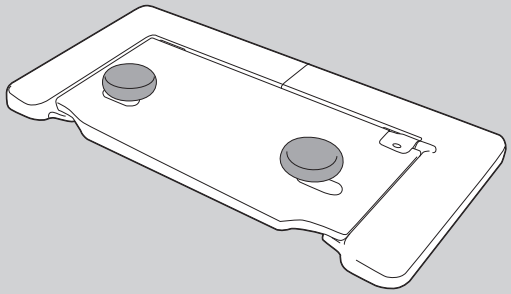
安寿（あんじゅ） バスボード H-L / H-S はねあげくん

共通取扱説明書



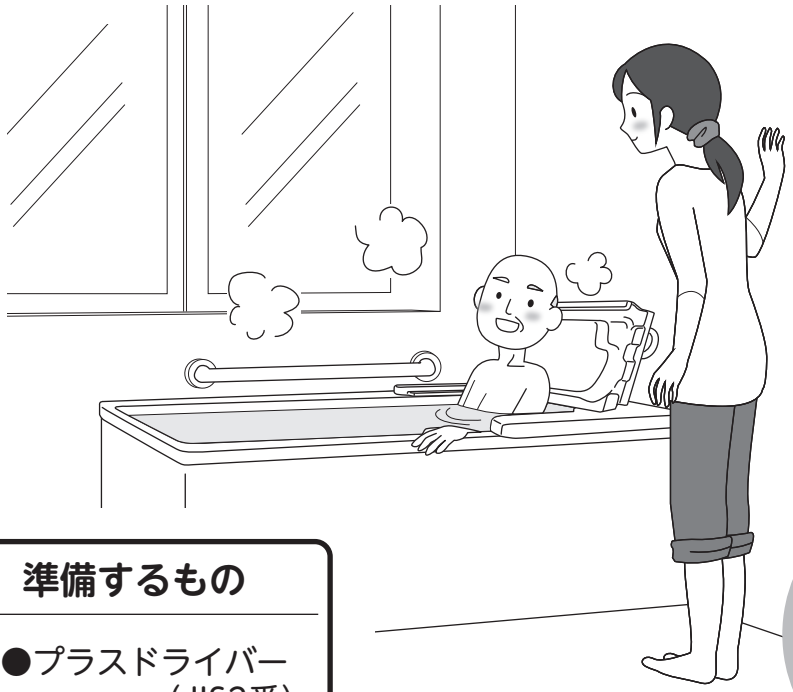
バスボード H-L



バスボード H-S

最大使用者体重：100kg

このたびは バスボード はねあげくん をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は浴槽への移動が不安な方におすすめする製品で、介護が必要な方も、そうでない方もお使いいただけます。快適な入浴をお楽しみください。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



準備するもの

●プラスドライバー（JIS2番）

保存版
（保証書付）

ARONKASEI CO.,LTD.

取扱説明書を読んだ後は必ず保管してください。

もくじ

確認しましょう P. 3 ～ 4

・梱包品の確認……3
・各部の名称……3
・商品の寸法図と仕様……4

安全上のご注意 P. 5 ～ 9

ご使用の前に P. 10 ～ 12

・取り付ける前に…… 10
・組み立てましょう…… 10
・設置しましょう…… 12

使いましょう P. 13 ～15

・ご使用になる前に…… 13
・使いかた…… 13

お手入れしましょう P.16 ～17

・お掃除のしかた…… 16
・保管のしかた…… 17
・交換部品…… 17

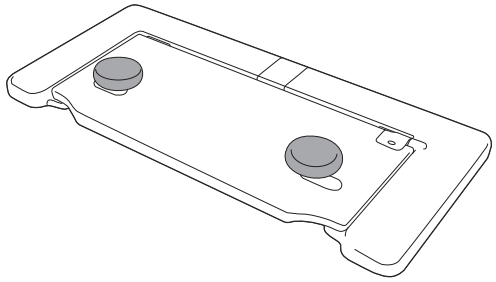
困ったときには P.18 ～19

・保証とアフターサービス……18 ～ 19

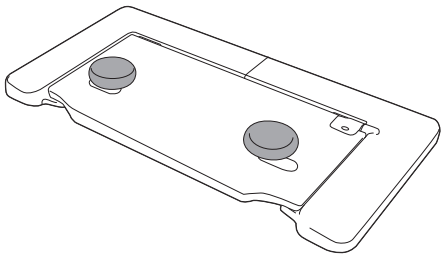
梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。
ご購入の商品のチェック欄にレ点を入れてください。

□ バスボード H-L

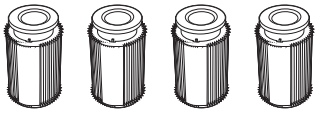


□ バスボード H-S

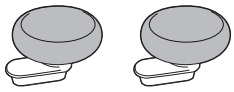


共通付属品

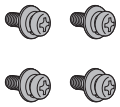
固定ストッパー　4本



グリップ　2個

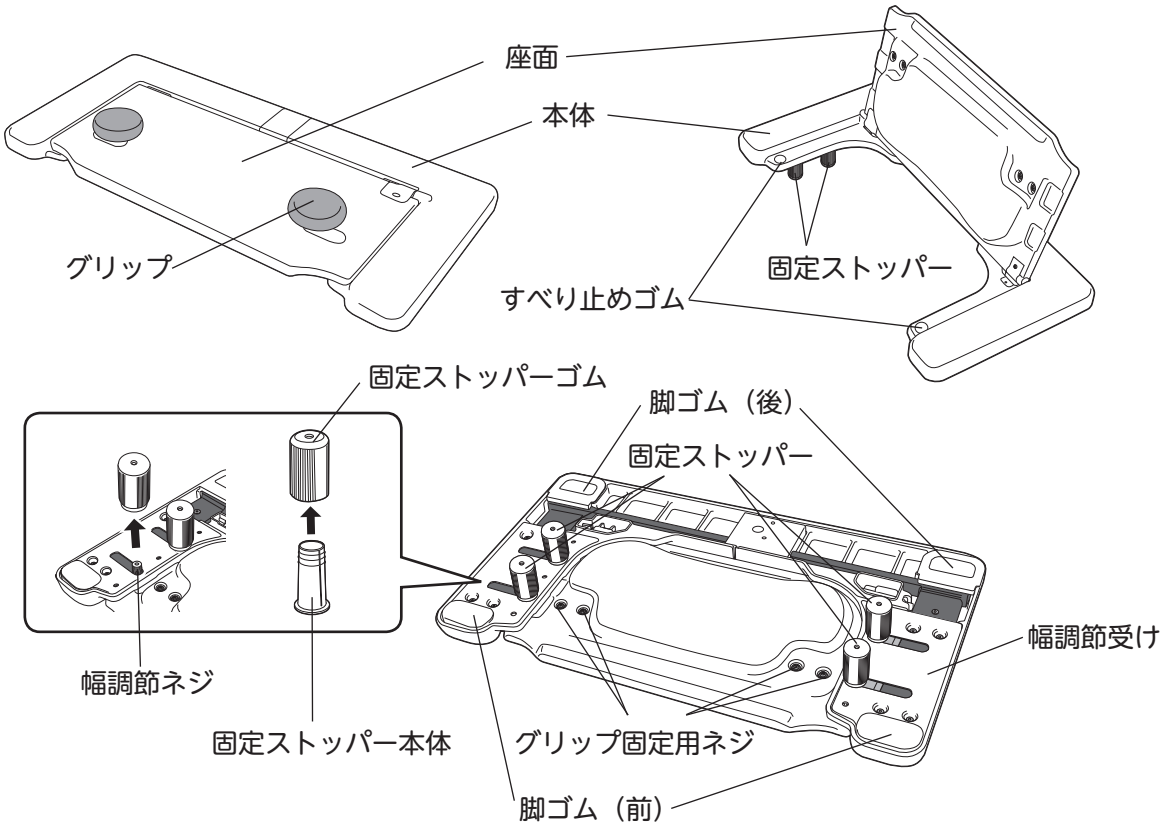


グリップ固定用ネジ
4本



キャップ　1個

各部の名称

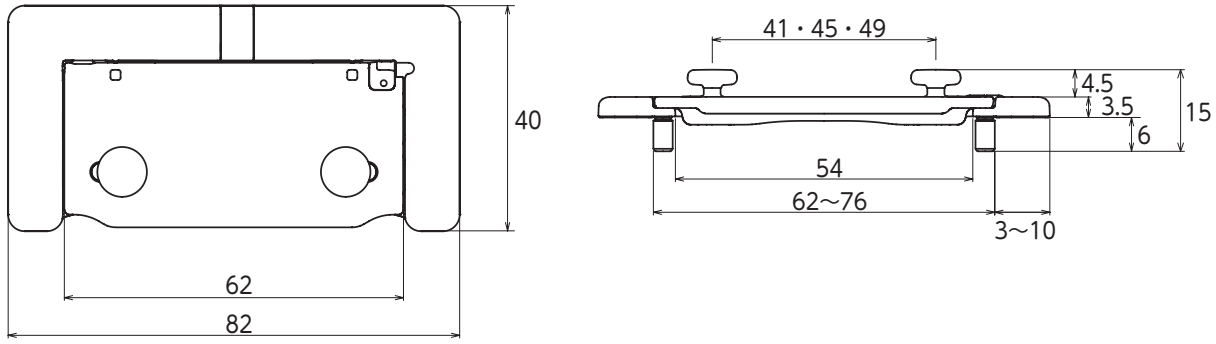


商品の寸法図と仕様

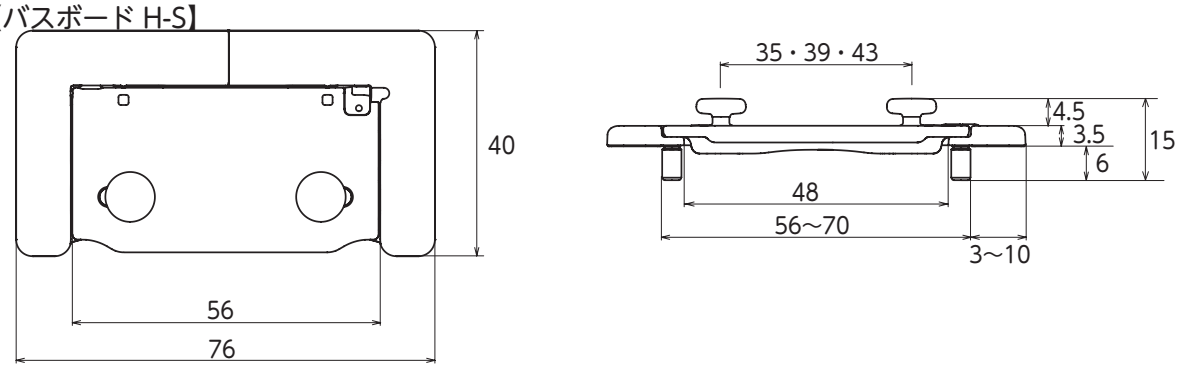
商品寸法図

単位：cm

【バスボード H-L】



【バスボード H-S】



仕様

品　　名		バスボード H-L / H-S “はねあげくん”	
構成部材		部品名	材　　質
		座面	表面：ポリプロピレン / ポリエチレン 芯材：アルミニウム ポリスチレン / ポリエチレン
		本体	表面：ポリプロピレン 補強材：ステンレス
		幅調節受け、幅調節ネジ、固定ストッパー本体	ABS 樹脂
		ストッパーゴム、脚ゴム (前・後)	エラストマー
		キャップ	ポリエチレン
		グリップ	被覆材：エラストマー 芯材：ポリプロピレン
		すべり止めゴム	合成ゴム
サイズ	バスボード　H-L	幅 82 ×奥行 40 ×高さ 15cm　（ボード厚さ：3.5cm）	
	バスボード　H-S	幅 76 ×奥行 40 ×高さ 15cm　（ボード厚さ：3.5cm）	
重　量	バスボード　H-L	5.9kg	
	バスボード　H-S	5.8kg	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、守っていただかないと人身事故や家財の損傷に結びつくものです。製品を安全にお使いいただくための重要な内容ですので必ずお守りください。

警告

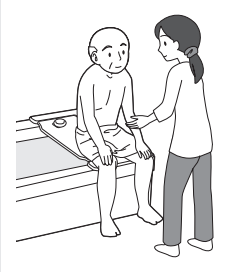
誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

以下は、転倒やけがの原因になったり、浴槽や製品が破損したりする原因になりますので、必ず行ってください。

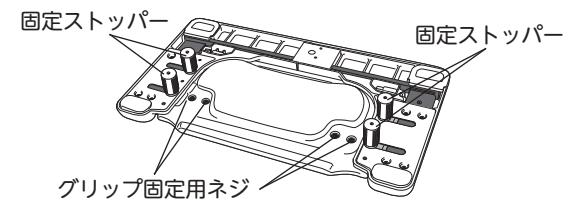
使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと

転倒し、けがの原因になります。



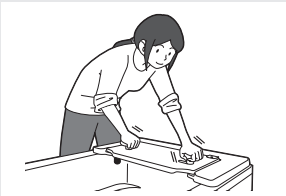
ご使用前に必ずグリップ固定用ネジや固定ストッパーに緩みがないことを確認すること

転倒し、けがの原因になります。



ご使用前に必ずグリップを握り軽くゆすって、バスボードにガタツキがないことを確認すること

バスボードが動いて転倒し、けがの原因になります。



身体やバスボードについたシャンプーや石けんを流してから使用すること

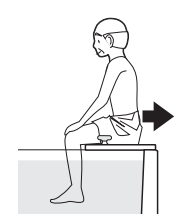
転倒し、けがの原因になります。

洗い場側からグリップを掴んで引っ張らないこと

転倒し、けがの原因になります。

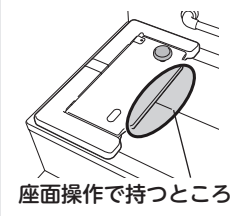
座面には深く腰掛けること

座りが浅いと浴槽内に転落する恐れがあります。



はねあげた座面を下ろすときは、座面中央部を持って行うこと

介護を受ける方が不意に体勢を崩され、座面に座る可能性があります。
座面の端を持つと手を挟んで、けがをする原因になりますので、座面は中央部を持ってご利用ください。

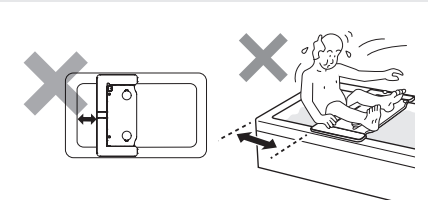


絶対にしないこと

以下は、浴槽や製品が破損したり、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

バスボードと浴槽の間に隙間をつくったり、浴槽の中央付近に設置したりしないこと

転倒し、けがの原因になります。



警告

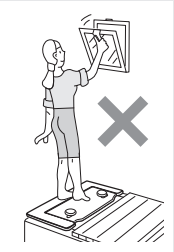
誤った使いかたをすると**「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」**内容を説明しています。

絶対にしないこと

以下は、浴槽や製品が破損したり、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

バスボードを踏み台にしないこと

転倒し、けがの原因になります。

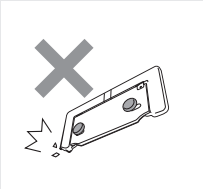


浴室外では使わないこと

けがの原因になります。

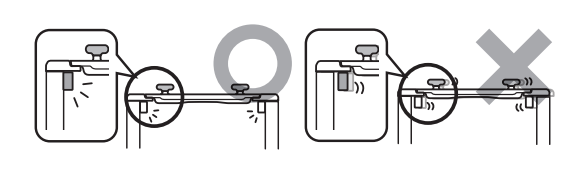
バスボードを落下などで変形、破損させた場合は使用しないこと

転倒し、けがの原因になります。



取り付けるとき、ストッパーゴムと浴槽の縁との間に隙間をつくらないこと

バスボードが動いて転倒し、けがの原因になります。

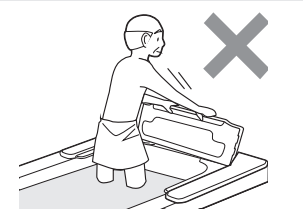


改造や分解をしないこと

本品が正常にはたらかず、けがの原因になります。

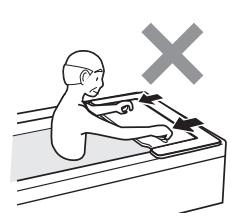
はねあげた座面を手すり代わりに使わないこと

転倒し、けがの原因になります。



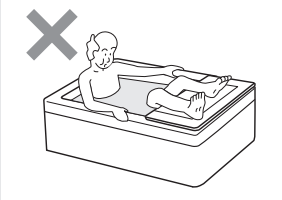
浴槽内から立ち上がるときに製品を引っ張らないこと

本体が浴槽から外れて転倒しけがの原因になります。
また、本体が落下し浴槽を破損する原因になります。



バスボードに足を載せないこと

転倒や、けがなど思わぬ事故の原因になります。



子供を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

けがや思わぬ事故の原因になります。

はねあげた座面に全身でもたれかからないこと

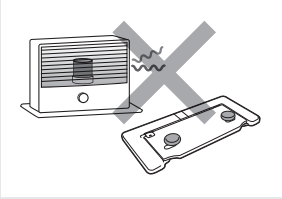
転倒や、けがの原因になります。

体重が 100kg を超える方は使用しないこと

転倒や、けがの原因になります。

熱湯をかけたり、ストーブなどの火気に近づけないこと

火災や変形、変色の原因になります。



注意

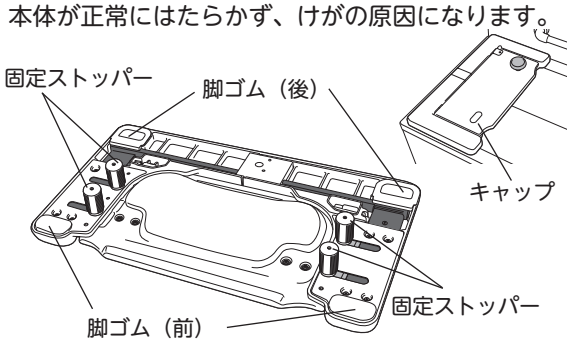
誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

必ず行うこと

以下は、転倒やけがの原因になったり、浴槽や製品が破損したりする原因になりますので、必ず行ってください。

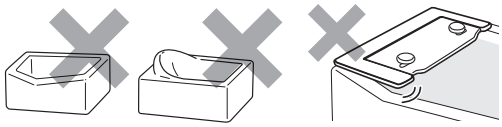
使用する前に脚ゴム、固定ストッパー、キャップが確実に取り付けられているか確認すること

本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。



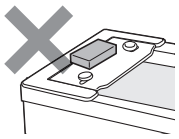
縁が平らな浴槽に使用すること

縁が傾斜している浴槽には使用できません。
取り付けが不安定になり、本体が動いて転倒し、けがの原因になります。



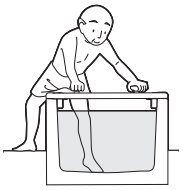
使用前にバスボードの上にものがないか確認すること

けがの原因になります。



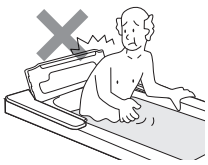
滑りやすいので、全ての動作はゆっくりと行うこと

転倒や、けがの原因になります。



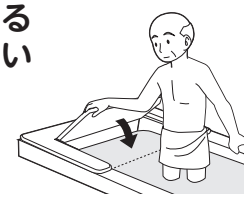
浴槽内での動作はバスボードに身体をひっかけないように注意すること

本体が浴槽から外れて転倒しけがの原因になります。
また、本体が落下し浴槽を破損する原因になります。



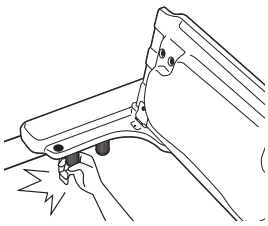
はねあげた座面を下げるときに身体に当たらないように注意すること

けがの原因になります。



固定ストッパーを締めるときは固定ストッパーと浴槽の壁との間で指を挟まないように注意すること

けがの原因になります。

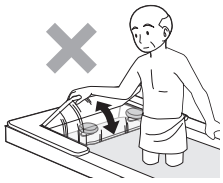


座面は静かに上げ下げし、最後まで手を添えること

けがの原因になります。

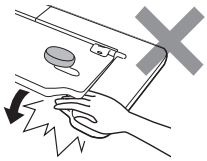
座面を無理に上げ下げしないこと

ダンパーが破損して、座面が勢いよく倒れて手を挟み、けがの原因になります。



はね上げた座面を下げるときに、座面と本体の間に指を挟まないように注意すること

けがの原因になります。



バスボードを浴槽に設置した状態で子供と入浴するときは子供から目を離さないこと

子供が体を挟んだり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

注意

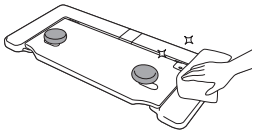
誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

必ず行うこと

以下は、転倒やけがの原因になったり、浴槽や製品が破損したりする原因になりますので、必ず行ってください。

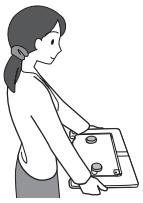
定期的に外して清掃すること

長期間設置を続けると、本体やグリップ、ストッパーゴムなどにカビやぬめりが発生し、汚れがとれなくなったり、滑って転倒し、けがの原因になります。



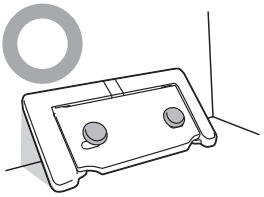
バスボードを持ち上げるときは、座面の動きに注意して、本体両端部分を両手でしっかり掴んで水平に持ち上げること

座面が動いて身体に当たり、けがの原因になります。また、重量が重いので、足の上に落下させるとけがの原因になります。



バスボードを壁にたてかけるときは、前縁部を接地するようにたてかけること

倒れたときに破損の原因になります。



バスボードを浴槽から外して保管するときは、子供の手の届かないところに保管すること

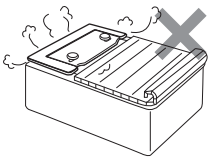
けがや思わぬ事故の原因になります。

絶対にしないこと

以下は、浴槽や製品が破損したり、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

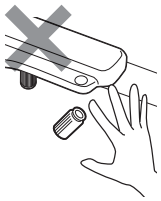
製品を浴槽に設置した状態でお湯を高温（60℃以上）にしないこと

変形または破損し、転倒や、けがの原因になります。



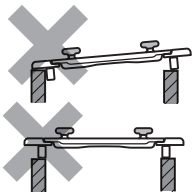
固定ストッパーを緩めるときは緩めすぎないこと

脱落して落下すると、破損の原因になります。



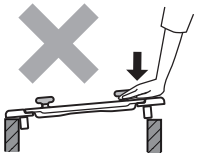
固定ストッパーを浴槽の縁の上に乗せて使用しないこと

転倒やけが、破損の原因になります。



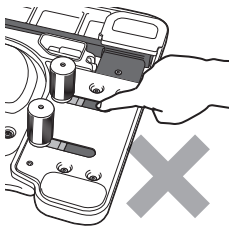
ストッパーと浴槽の縁の幅が合わないときに無理に押し込まないこと

破損の原因になります。



固定ストッパーの調節溝に手の指を入れないこと

指が抜けなくなり、けがの原因になります。



イスや踏み台として使用しないこと

転倒やけが、破損の原因になります。

注意

誤った使いかたをすると**「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」**内容を説明しています。

絶対にしないこと

以下は、浴槽や製品が破損したり、転倒やけがの原因になりますので、絶対にしないでください。

バスボードを浴室に設置した状態で子供だけで入浴させないこと

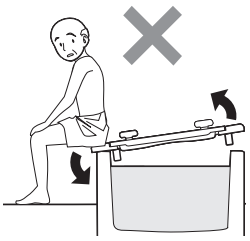
子供が体を挟んだり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

子供をバスボードの上に乗せないこと

子供が座面から落ちて、けがをする原因になります。

バスボードが浴槽からはみ出る場合は浅く腰掛けないこと

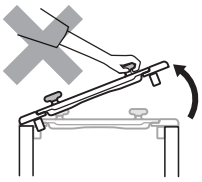
本体が浴槽から外れて転倒や、けがの原因になります。



バスボードを浴槽から外すときは、グリップを掴んで取り外さないこと

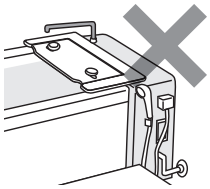
破損の原因になります。

正しい取り外し方は…P.16へ



バランス釜の上に置かないこと

変形または破損し転倒や、けがの原因になります。



温泉水や入浴剤は使用しないこと

劣化および変色の原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- シンナー　• クレゾール
- 酸、アルカリ性洗剤
- 塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- 磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

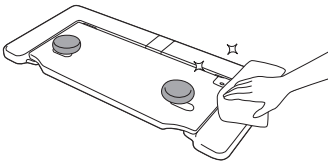
製品が劣化し、破損の原因になります。

塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと

劣化および変色の原因になります。
※通常の水道水は問題ありません。

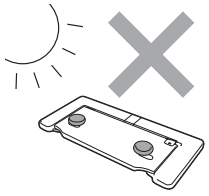
アルコール以外で消毒しないこと

劣化および変色の原因になります。



屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

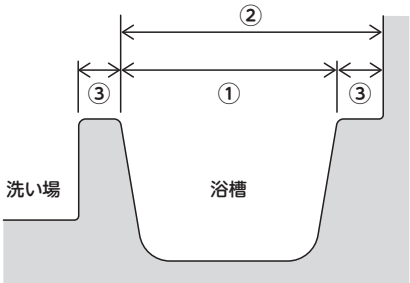
劣化および変色の原因になります。



取り付ける前に

浴槽のサイズを確認しましょう

浴槽を計測し、取り付けられる浴槽であることをご確認ください。

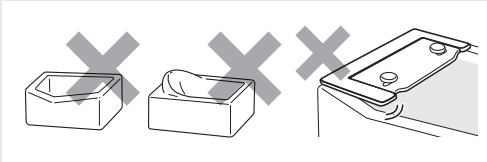


項目	バスボード H-S	バスボード H-L
①浴槽内幅	56 ～ 69cm	62 ～ 75cm
②浴槽縁幅（奥側）＋浴槽内幅	66cm 以上	72cm 以上
③浴槽縁幅（浴槽側＋奥側 共に）	3.5cm 以上	

注意

●縁が平らな浴槽に使用すること
●浴槽の縁が傾斜しているものには使用しないこと

取り付けが不安定になり、体重をかけたときにバスボードが動き転倒し、けがの原因になります。

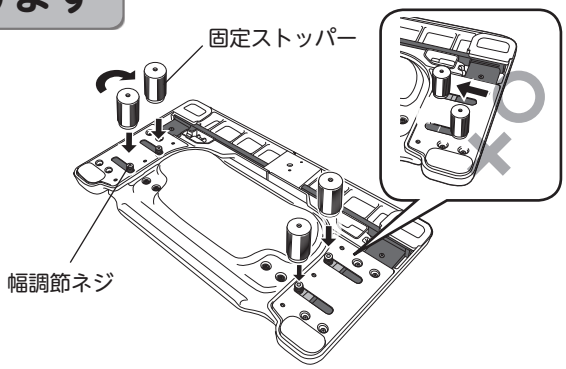


組み立てましょう

準備するもの　プラスドライバー（JIS2 番）

1．本体に固定ストッパーを取り付けます

本体を裏返し、固定ストッパーをストッパーの調節溝の中にある幅調節ネジに取り付けます。（4 ヶ所）
このとき固定ストッパーはもっとも内側に設定してください。



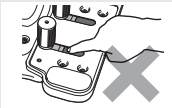
注意

固定ストッパーは締めすぎないこと

破損の原因になります。

ストッパーの調節溝に手の指を入れないこと

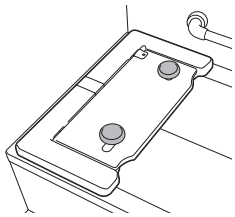
指が抜けなくなり、けがの原因になります。



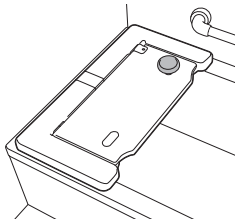
2．利用方法に合わせてグリップを取り付けます

①利用方法に合わせて、取り付けるグリップの数を決めます。
※グリップ無しでは使用しないでください

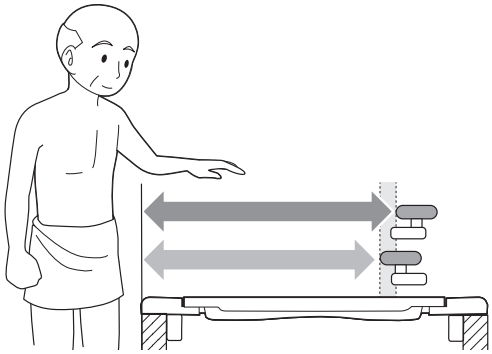
立位で浴槽をまたぐ場合
左右 2 ヶ所に取り付け



座位で浴槽をまたぐ場合
奥側 1 ヶ所に取り付け

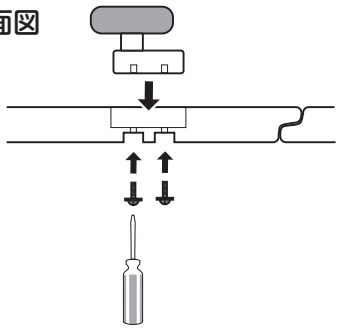


②使う方の体格に合わせて、取り付けるグリップの向き（浴槽の端からグリップまでの距離）を決めます。



③お持ちのプラスドライバーを使用し、本体裏側からグリップ固定用ネジでグリップを確実に止めます。
グリップを取り付けていない穴はキャップでふさいでください。

※断面図



注意

●グリップ固定用ネジを締めるときは正しい工具を使用すること
●グリップ固定ネジは締めすぎないこと

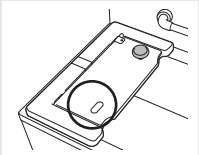
破損の原因になります。

グリップ固定用ネジがゆるみなく固定されたか確認すること

固定されていないとグリップがガタつき、転倒やけがの原因になります。

グリップを取り付けていない穴は必ずキャップでふさぐこと

移乗のときに引っかかり、けがの原因になります。



設置しましょう

警告

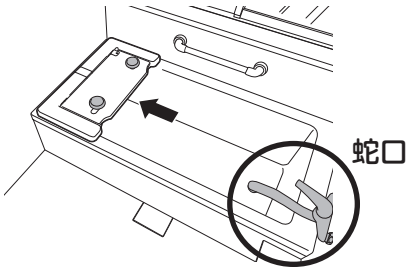
取り付け前に脚ゴムや固定ストッパーのゴムが確実に取り付けられていることを確認すること

本体が不安定になり、転倒やけがの原因になります。

詳しくは…P.16へ

1．本体を浴槽にのせ、取り付け位置を決めます

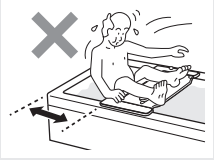
①蛇口と反対の位置で、浴槽の端に取り付けます。



注意

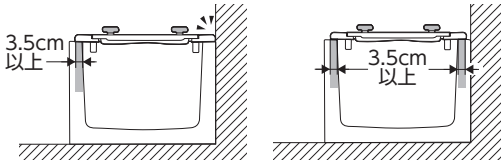
浴槽の中央付近への取り付けはしないこと

身体がすき間にはまりこみ、けがの原因になります。



②下図を参考に、本体の取り付け位置を調整してください。

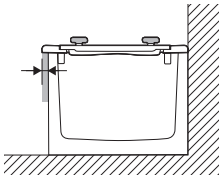
バスボードの全幅が、浴槽の外幅より短い場合



※本体を壁に接触させるか、左右均等に配置し、浴槽の縁に 3.5cm 以上は必ず載るようにしてください。

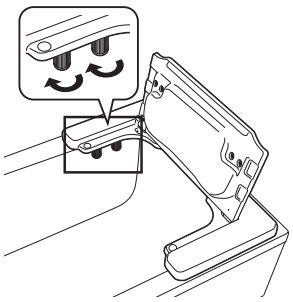
バスボードの全幅が、浴槽の外幅より長い場合

※本体を壁に接触させ、はみ出る幅が小さくなるように置いてください。

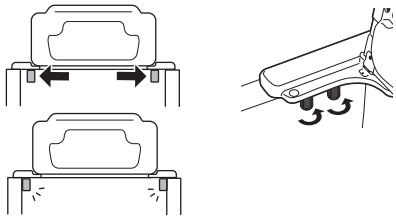


2. ストッパーの調整をします

①座面をはねあげ、固定ストッパーを緩めます。（4ヶ所）



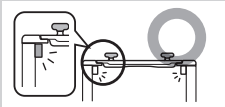
②固定ストッパーを浴槽の壁に当たるところまで移動させ、固定します。（4ヶ所）



警告

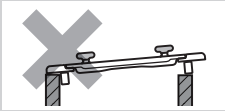
ストッパーと浴槽の縁の間に隙間をつくらないこと

本体が不安定になり、転倒やけがの原因になります。



ストッパーを浴槽の縁の上に乗せて使用しないこと

転倒やけがの原因になります。また、本体が破損する原因になります。



注意

ストッパーと浴槽の縁の幅が合わないとき無理に押し込まないこと

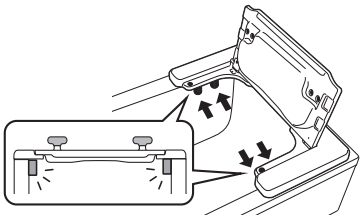
本体が破損する原因になります。

ご使用になる前に（点検）

安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず点検してください。

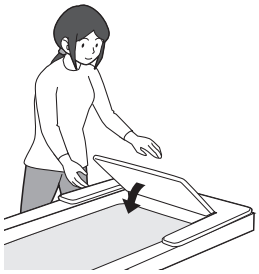
点検方法

①固定ストッパーが浴槽の壁に当たっていることを確認します。



②グリップを握ってバスボードを軽く押し、ゆらして、バスボードが浴槽からはずれたり、ガタツキがないことを確認します。

③はねあげた座面が、ゆっくりと下がることを確認してください。



使いかた

一人で使用する場合

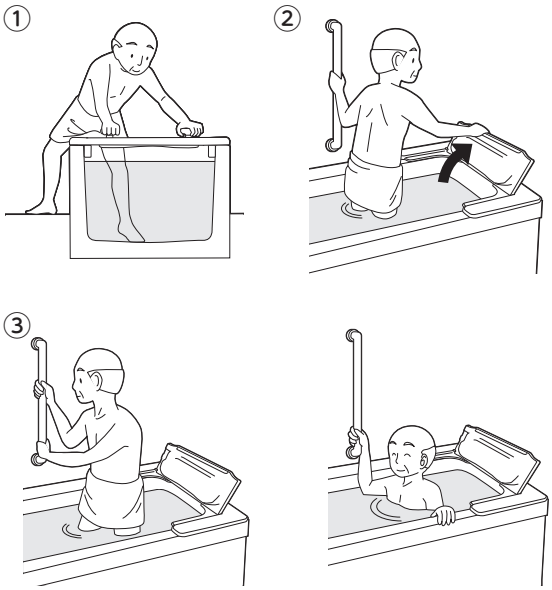
立位で浴槽をまたぐ

①バスボードのグリップを握ったり、座面に手をついて身体の安定を確認し、片足ずつゆっくりと浴槽をまたぎます。

②座面をはねあげます。

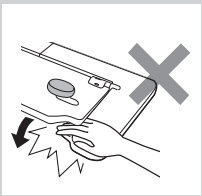
③静かにお湯につかります。

※出るときは、入るときと逆の手順で出てください。



警告

はね上げた座面を下げるときに、座面と本体の間に指を挟まないように注意すること



けがの原因になります。

座位で浴槽に入る

①なるべく深く座ります。

②浴槽奥側のグリップをつかんでください。

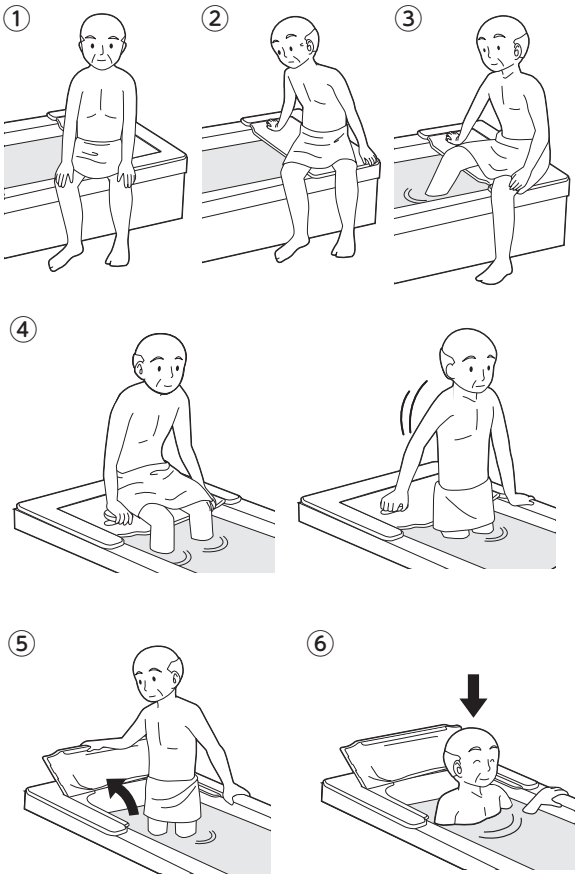
③浴槽の中に片足ずつ足を入れてください。

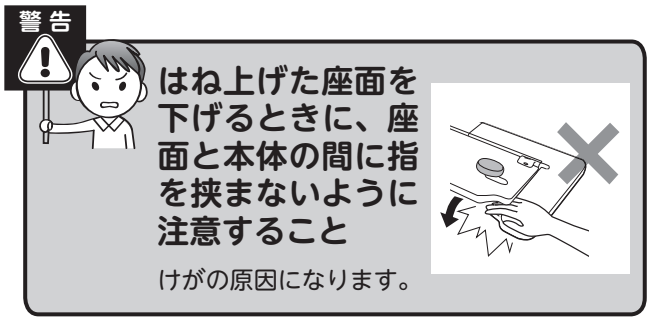
④グリップにつかまったまま浴槽内で立ち上がります。

⑤座面をはねあげます。

⑥静かにお湯につかります。

※出るときは、入るときと逆の手順で出てください。





介助者がついている場合

座位で浴槽に入れる

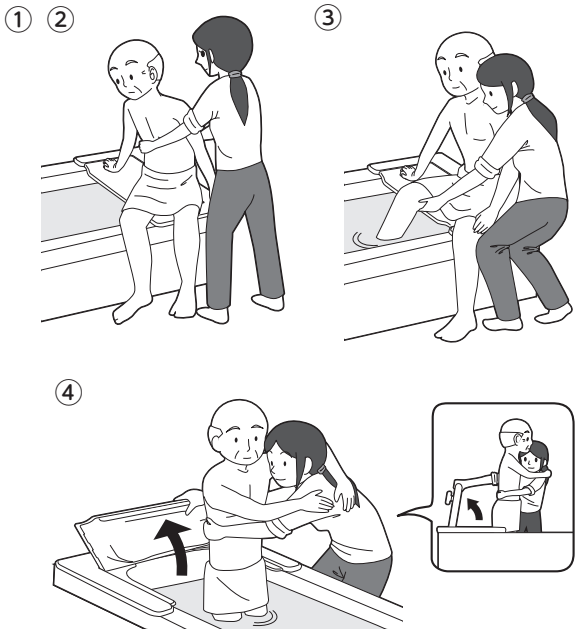
①なるべく深く座らせます。

②可能な場合はグリップにつかまらせます。

③身体の向きを変えながら、浴槽の中に片足ずつ足を入れてください。

④介助者は、介護を受ける方の身体を抱きかかえ、空いている手で座面をはねあげます。

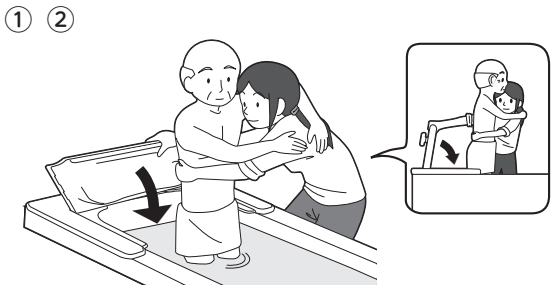
⑤そのまま静かにお湯につからせます。



浴槽から出る

①両手で介護を受ける方の身体をしっかり支えながら立ち上がらせます。

②介助者は介護を受ける方の身体を抱きかかえ、空いている手で座面を下ろします。



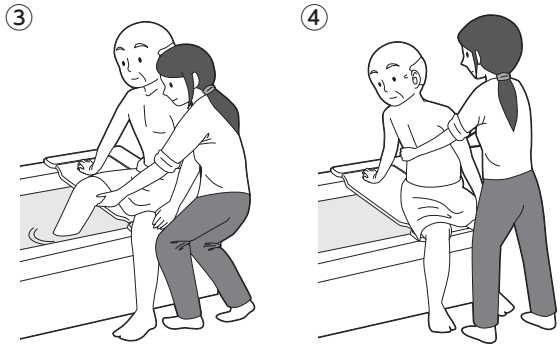
警告

座面を下ろすときは、座面中央部を持って行うこと

介護を受ける方が不意に体勢を崩され、座面に座る可能性があります。
座面の端を持つと手を挟んで、けがをする原因になりますので、
座面は中央部を持ってご利用ください。

③なるべく深く座らせ、片足ずつ足を浴槽の外へ出します。

④身体を抱きかかえて立ち上がらせます。

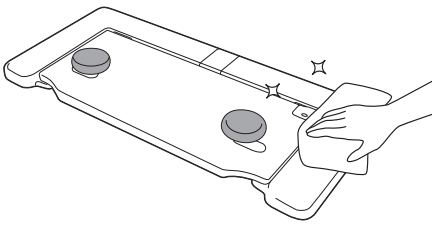


**バスボードは設置した状態で湯沸かしが可能です。
ただし、お湯が 60℃以上になると本体が変形または破損しますので
ご注意ください。**

お手入れしましょう

バスボードは長時間、水をかけられたり湿気にさらされると湯垢などでカビやヌメリが生じやすくなります。使用後は定期的に取り外し、こまめにお手入れしてください。

お掃除のしかた



中性洗剤をうすめてスポンジまたは柔らかい布にふくませ汚れをとったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか乾いた布でから拭きしてください。

●バスボードを設置したまま浴槽やバスボードを清掃する際は、バスボードの落下や、はねあげた座面と本体との間で指を挟まないようにご注意ください。

●消毒を行う場合はアルコールを使用してください。

次にあげるものではお手入れしないこと

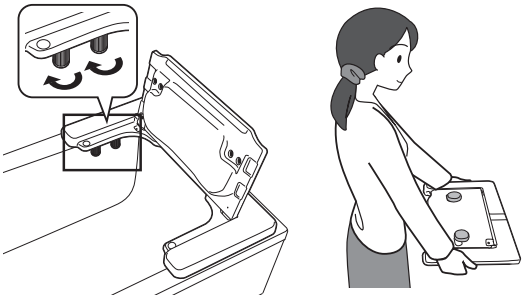
- **シンナー　・クレゾール　・酸、アルカリ性洗剤**
- **塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒**
- **磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの**

製品が劣化し、けがの原因になります。

●脚ゴム・固定ストッパーのゴムはお手入れのときに外すことができます。お手入れ後は確実に、元通り取り付けてください。

本体の取り外し方

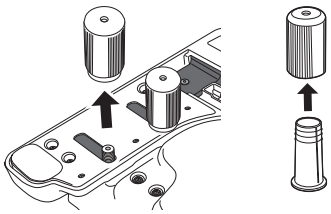
座面をはねあげ、固定ストッパー（４ヶ所）を緩め、本体両端を持って、水平に持ち上げます。



固定ストッパーゴムの取り外し方

①本体を裏返し、固定ストッパーを幅調節ネジから取り外します。

②固定ストッパー本体にかぶさっているストッパーゴムを強く引っ張って取り外します。



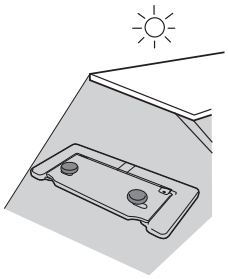
※ストッパーゴムを取り付ける場合は、固定ストッパー本体の突起と、ストッパーゴムの溝を合わせて元通りにはめ込んでください。

●グリップ・脚ゴム・固定ストッパーのゴム・キャップ・ネジ類などは代用品を使用すると危険です。これらの部品を紛失したり、破損した場合は新しい部品をお買い求めください。

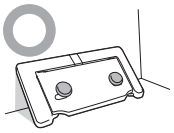
詳しくは…P.17へ

保管のしかた

直射日光の当たらないところで保管してください。

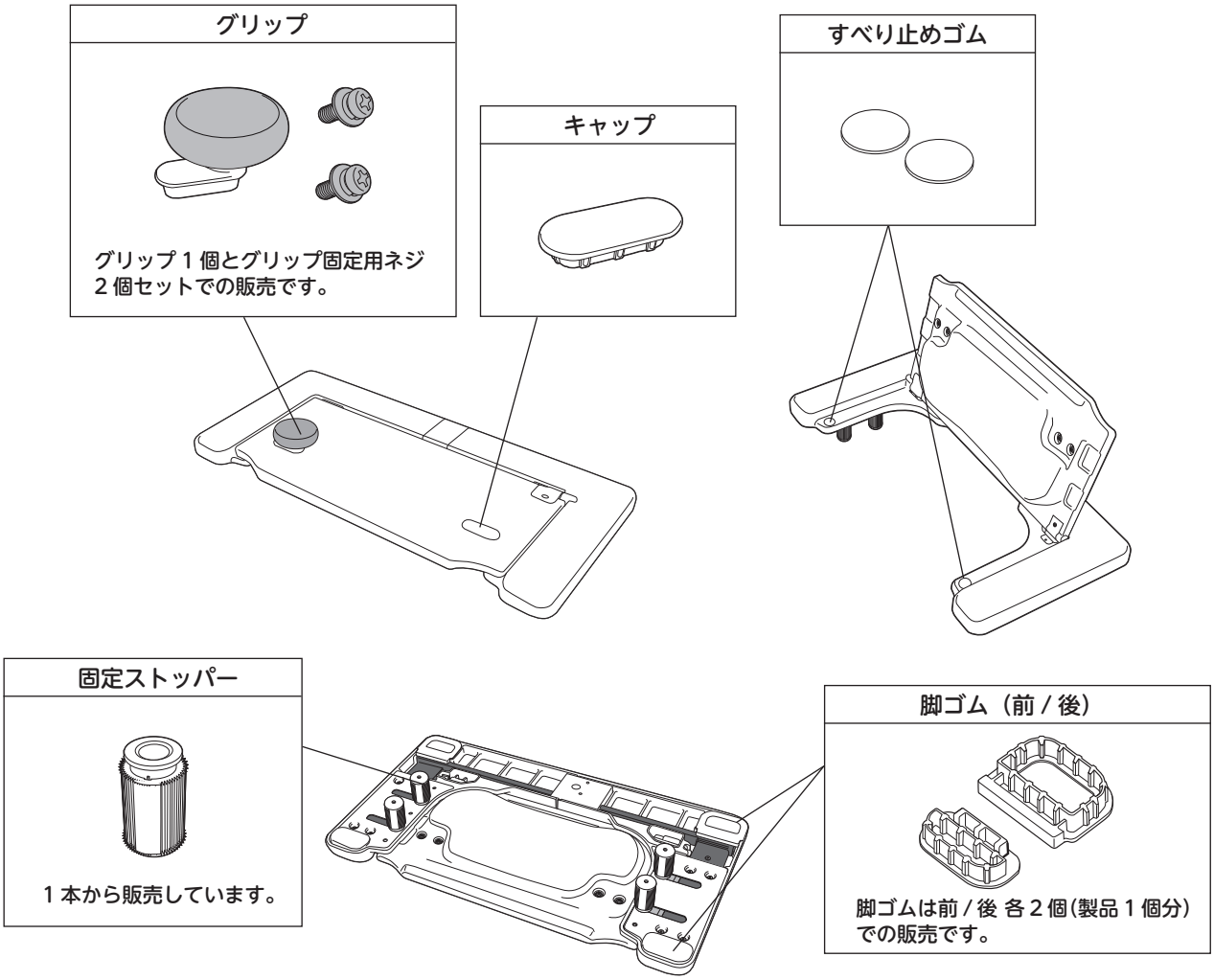


立てておくときは、座面の開閉に注意して、本体前側が接地するように置いてください。



交換部品

●グリップ、固定ストッパー、脚ゴム、キャップは消耗品です。
各部品が汚れたり破損した場合は、お買い求めの販売店に問い合わせの上ご購入し、交換してください。



保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後３年となります。

ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社
お客様相談室 フリーダイヤル **0120−86−7735**
（受付時間）祝祭日以外の
月〜金 9:00〜17:00
（12:00〜13:00 は除く）

保証とアフターサービス　よくお読みください

保 証 書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より１年間です。

1．修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2．ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4．保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
　1）保証書のご提示がない場合。
　2）本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　3）使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
　4）お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
　5）火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
　6）消耗品の損傷及び汚れ。
　7）業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.
6．保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

1）保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
　なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
2）修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

見本

★お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間	お買い上げ日より１年
お　客　様	ご住所　〒 ご芳名　　TEL
★ 販 売 店	住　所　〒 店名

この保証書はご使用できません

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見･お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

製造・発売元

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL　http://www.aronkasei.co.jp/　安寿　検索

19.07　919208-2